

暮らし・定住・未来創造

広報

しんじょう 4

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.712



新庄市役所 Tel22-2111
ファクス22-0989

新庄市ホームページ
<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
メール info@city.shinjo.yamagata.jp



ユネスコ無形文化遺産
国重要無形民俗文化財



新年度

スタート!



表紙の写真

市の陸上競技場は昨年12月に改修が終わり、今年
はこれを記念した事業も展開されます。
新たな年度のスタートです!!

広報 しんじょう4

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.712

目次◎CONTENTS

特集／平成29年度市政

- 3 元気で、人に優しく、希望の持てるまちに。
- 6 一般会計当初予算
- 8 まちづくり総合計画重点プロジェクト
- 14 市組織体制
- 16 新庄市公共施設等総合管理計画
- 18 まちとび
- 20 連載 図書館に行こう **NEW**
- 21 お知らせなど
- 24 連載 しんじょうラボ **NEW**

市長コラム

山尾順紀



4月は人生のあらため

東日本大震災から丸6年が経過しました。先日小学校の卒業式に出席しましたが、そのとき入学した児童たちが今回無事卒業を迎えました。当時の混乱を思えば、保護者や先生方には喜びもひとしおでしょう。年末年始、そしてあつという間に4月。正月が歳のあらためなら、4月は人生のあらためです。新しい1年生が入学し、巣立ち、大人になっていきます。すべて順調に良い方向に進んでくれば良いのですが、どんな人生が待ち受けているかは誰にもわかりません。ニュースの事件・事故を見てもそうですが、本人には防げないケースもあります。元氣な学校生活を送り、無事巣立っていきけるよう、新学期新1年生の登校下校をみんなで見守っていきましょう。

さて、今月の特集でも触れていますが、今年は全国高等学校体育大会(東北インターハイ)バドミントン競技が、新庄市、鶴岡市、尾花沢市を会場に、7月29日～8月3日に開催されます。また、ユネスコ無形文化遺産登録後初めての「新庄まつり」が行われますので、安全円滑に運営できるよう努めてまいります。10月28日・29日には、大正大学のお声がけにより東京巣鴨地蔵通り商店街に山車3台を派遣します。ユネスコ無形文化遺産登録のお祝いの意も込めてまつり関係者と力を合わせて実施します。ほかにも、陸上競技場改修記念として10月に第1回シティーハーフマラソン大会を開催します。挑戦できるよう今から練習してみてもどうでしょうか。新たなまちづくりの創造元年となるよう、一層みなさんで新庄市を盛り上げていきましょう。

元気で、
人に優しく、
希望の持てるまちに。



平成29年度
市政

平成26年に地方創生が提唱され、これまで国や地方自治体によるさまざまな取り組みが行われてきました。しかし地方における雇用情勢や経済は、改善してきたとはいえ、まだまだ課題がある現状です。いつまでも住み続けられるふるさと新庄を目指し、平成29年度も皆様とともに取り組みを進めていきます。

平成29年度 市政

元気で、人に優しく、
希望の持てるまちに。

私は、「人行きかうまち」、「人ふれあうまち」、「人学びあえるまち」をまちづくりの基本理念としています。その実現に向け、「経済力」、「地域力」、「教育力」を強化する施策を展開し、これらを結び合わせた「地域基盤力」の向上により、地域の良さを最大限に引き出すまちづくりを進めてきました。これらを土台として、地域の良さを見つめ直し、市民の皆様とともに、自信と誇りを持てる「元気なまちづくり」に取り組んで参りました。そして、新庄の良さを市民の皆様と一緒に掘り出してきたことにより、地域には「元気」があふれてきています。これからはその「元気」で、全ての人に「優しい」まちにしていきたいと思えます。この「元気」と「優しさ」があふれるまちづくりを進めること

で「新庄に住んで良かった」と思われるまちとなり、「若者が住み続けたい、帰ってきたい」と思えるまちになり、「誰もが住んでみたい」と思わせるまちになると信じております。

今年度は、県立新庄病院の移転改築や看護師養成機関の設置準備、公共交通の有り方の検討など、市民生活に深く関わる分野の事業がスタートする非常に重要な一年となります。重要課題は山積していますが、全力で挑戦し、「希望の持てるまち」にしていきたいと考えております。「まちはだれのもの」という初心を忘れず、「市民第一主義」を引き続き強く意識しながら、本市がさらに大きく羽ばたけるよう、職員一丸となり市政運営に取り組んでいきます。

平成29年度施政方針より抜粋・編集。全文は市ホームページでご覧いただけます。
<http://www.city.shinjo.yamagata.jp/s002/050/20170317114658.html>

山尾順紀 市長

伊藤元昭
副市長



地域基盤力強化

新庄市まちづくり総合計画
後期5ヶ年計画

実現すべき将来像

自然と共生 暮らしに活力
心豊かに 笑顔輝くまち

取り組む
主要な課題
(基本目標)

- ①産業の振興
- ②健康と福祉の充実
- ③教育の振興
- ④社会生活
基盤の整備
- ⑤環境の保全

新庄最上定住自立圏
共生ビジョン

圏域全体の活性化と
生活機能の確保
中心市としての役割

第6次新庄市
行財政改革大綱

行政運営の効率化と
市民サービスの向上

中期財政計画

持続可能な財政運営で
喫緊の行政需要に対応

公共施設等
総合管理計画

長期的な視点による
公共施設の総合的・
計画的な管理

(16～17ページでも紹介)

市が行うさまざまな事業は、平成29年度もこれまで同様、次の計画に基づき実施していきます。

市政運営の基本指針となる市の最上位計画が、第4次新庄市振興計画「新庄市まちづくり総合計画」です。

「自然と共生 暮らしに活力 心豊かに笑顔輝くまち 新庄」を指すべき将来像とし、基本目標に「産業の振興」、「健康と福祉の充実」、「教育の振興」、「社会生活基盤の整備」、「環境の保全」の5つの分野を掲げています。計画の推進手法として、「市民協働」と「広域連携」を取り入れ、本市における地方創生の取り組みと数値目標を定めた「新庄市総合戦略」に基づき、「雇用・交流の拡大」、「安全・安心の充実」、「子育て・人づくり」の3つの重点プロジェクトにより、限られた経営資源（人・物・金）を政策的に投入しながら推進していきます。

あわせて、最上8市町村の連携による「定住自立圏構想」に取り組みましたので、圏域全体の活性化と生活機能の確保に向け、中心市としての役割を果たしていきます。

次に、「第6次新庄市行財政改革大綱」ですが、「地域課題の解決を図る協働体制づくり」、「行政経営の効率化」、「行政課題の解決を図る組

織体制づくり」、「持続可能な財政運営」の4つを基本目標に定め、行政運営の効率化と市民サービスの向上に取り組み、これを継続していきます。

財政運営面は、これまでの厳しい財政状況を克服するため、内部管理経費の削減や投資的経費の抑制などに取り組み、改善が図られてきましたが、公共施設の改修費用、少子高齢化による社会保障費などが増大しており、財政の弾力性という面では、まだ課題を抱えていると言えます。

喫緊の行政需要に対応するためにも、平成27年に策定した「中期財政計画」に沿い、自主財源の確保と経常的経費の抑制、投資的経費の率率的な配置、市債発行の抑制を基本として、持続可能な財政運営に努めていきます。また、長期的な視点に立ち、公共施設などの総合的かつ計画的な管理を進めることを目的とした「公共施設等総合管理計画」に基づき、施設の統廃合や管理運営の効率化などに取り組みます。

また、「ふるさと納税」による寄附額

が、昨年度は6億円を超えました。お礼品による地域への経済的な波及効果もあります。ふるさとを思う気持ちを大事にいただくとともに、まちづくりを推進する大きな財源として、各分野の主要事業に有効に活用していきます。

次ページから平成29年度当初予算と、実施する主な事業について紹介していきます。

高野博 教育長

武田一夫前教育長の任期満了に伴い、新庄小学校長や最上教育事務所長などを歴任した高野博氏が、今年度から教育長を務めることになりました。



157億6,300万円

前年度比3%減 市民一人当たりの予算額42万9千円

市の財政は、老朽化する施設の改修や少子高齢化による社会保障費の増大などの大きな課題が多くある一方で、歳出の増加見込みほどの歳入の伸びは見込めないという厳しい状況です。しかし、まちづくり総合計画を着実に進めるため、実効性のある事業を見極め、ふるさと創生に向け積極的に取り組むことを方針とし、当初予算を編成しています。この結果、一般会計の予算総額は、157億6,300万円となり、28年度と比較すると、4億9,100万円、率にして3%の減となりました。ここでは、おおまかな内容をお知らせしますが、詳しい内容は市ホームページなどでご覧いただけます。

※二万円未満は四捨五入で表記、かつ内の数字は前年度比

【歳入】

①市税 44億2,002万円(1.6%増)
市民税の増額、軽自動車税やたばこ税の減額などを見込んでいます。

②寄附金 10億円(9.00%増)
ふるさと納税の現状、今後の取り組み強化を考慮し、ふるさと納税の伸びを見込みました。

③分担金及び負担金・使用料及び手数料・財産収入・繰入金・繰越金・諸収入 15億7,562万円(20.6%減)
大規模事業終了に伴う財政調整基金の繰入やスポーツ振興くじ助成金の減額を見込んでいます。

④地方交付税 41億7,000万円(2.1%減)

地方公共団体の財源保障とその均衡化のため、国が財源確保しそれを地方に交付するものです。普通交付税の減額を見込んでいます。

⑤国庫支出金・県支出金

31億4,566万円(1.8%減)

社会保障費の増加に伴う国県負担金の増加が見込まれるものの、道路等各種工事終了に伴う社会資本整備交付金の減額を見込んでいます。

⑥市債 6億4,300万円(58.8%減)
本庁舎の耐震補強工事、同報系防災行政無線整備、陸上競技場改修の完了などにより減額の見込みです。

⑦地方譲与税・各種交付金 8億870万円(1.9%増)
28年度決算見込みや29年度の国の地方財政計画上での伸び率を踏まえて計上しています。

【歳出】

■議会費

1億9,384万円(0.4%減)
議員報酬や、議会運営に必要な経費です。

■総務費

24億5,382万円(38.4%増)
庁舎管理、企画調整や財政管理、市税賦課徴収や戸籍住民基本台帳事務、選挙事務などの経費です。上下水道庁舎の改修工事、ふるさと納税事業費の大幅増、新規事業実施などにより増額となりました。

■民生費 53億4,603万(2.7%増)

■歳入

A 自主財源(市が自主的に収入し得る財源)

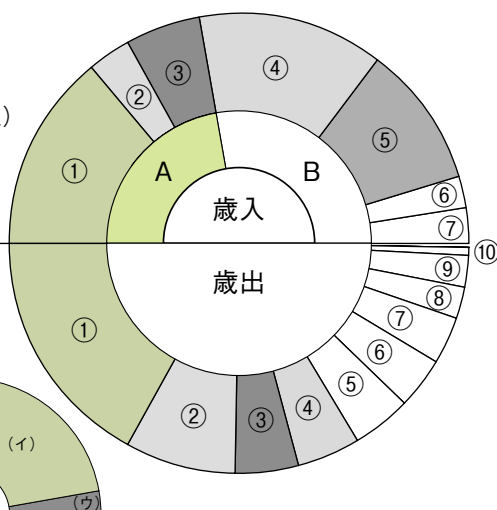
- ①市税44億2,002万円 (構成比28.0%)
- ②寄附金 10億円 (6.4%)
- ③分担金及び負担金など・15億7,562万円 (10.1%)

B 依存財源(国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入)

- ④地方交付税41億7,000万円 (26.5%)
- ⑤国・県支出金31億4,566万円 (19.9%)
- ⑥市債6億4,300万円 (4.1%)
- ⑦地方譲与税・各種交付金 ..8億870万円 (5.0%)

■歳出

- ①民生費53億4,603万円 (構成比33.9%)
- ②総務費24億5,382万円 (15.6%)
- ③公債費14億1,274万円 (9.0%)
- ④土木費13億8,898万円 (8.8%)
- ⑤教育費13億3,668万円 (8.5%)
- ⑥衛生費11億3,425万円 (7.2%)
- ⑦農林水産業費10億4,276万円 (6.6%)
- ⑧商工費7億5,782万円 (4.8%)
- ⑨消防費6億3,579万円 (4.0%)
- ⑩議会費1億9,384万円 (1.2%)
- 労働費4,029万円 (0.3%)
- 予備費2,000万円 (0.1%)



▼一般会計当初予算性質別歳出グラフ

- (ア) 義務的経費 70億8,676万円 (構成比45.0%)
人件費など、経費支出が義務付けられ任意に節減できない経費
- (イ) 物件費、補助費、維持補修費など 78億2,914万円 (49.6%)
- (ウ) 投資的経費 8億4,710万円 (5.4%)
経費支出の効果が施設等の資本形成に向けられるもの

ふるさと納税による寄附金を活用！ まちづくり応援基金から1億5,000万円！

平成28年度はふるさと納税制度で約7億円の寄附をいただきました。お礼品や各種経費を差し引いた約1億5千万円を、寄附者の意向に沿いながら平成29年度事業に使わせていただきます。充当する事業は次の通りで、その事業の財源として活用させていただきます。

■産業の振興に関する事業への寄附分(2,500万円)

- ・元気な集落営農創生費補助金・生産組織運営費補助金(排水対策による大豆、そば、飼料作物の生産向上)
- ・企業力強化支援まちづくり補助金(新製品の開発支援や情報発信支援)
- ・エコロジーガーデン推進事業
- ・新庄まつり振興事業(ユネスコ無形文化遺産登録記念の各種取り組みによる増加分に充当)

■医療や福祉の充実に関する事業への寄附分(6,500万円)

- ・若者世帯住宅取得支援事業
- ・第3子以降児童保育料等免除・無償化関連の事業
- ・子育て支援医療給付事業

■教育、文化、スポーツの振興に関する事業への寄附分(2,500万円)

- ・通学手段確保対策事業(スクールバスの運行や公共交通の通学利用に対する補助など)
- ・新庄藩主戸澤家墓所保存修理事業
- ・新庄ハーフマラソン大会実行委員会負担金
- ・全国高校総体バドミントン競技新庄市実行委員会負担金

■社会生活基盤の充実に関する事業への寄附分(1,500万円)

- ・除排雪管理システム導入業務委託料(GPSを利用した除雪車の位置情報発信体制整備)

■環境の保全に関する事業への寄附分(1,000万円)

- ・容器包装リサイクル事業(民間企業と障がい者福祉施設、近隣自治体と連携して食品トレーリサイクル事業)

■地域づくりに関する事業への寄附分(1,000万円)

- ・地域づくり支援事業(地域コミュニティ強化のための各種事業)
- ・自主防災組織育成補助事業
- ・地域公民館整備費補助金

平成29年度 一般会計当初予算

■平成29年度特別会計などの予算状況

■特別会計(前年度比)

国民健康保険事業	45億4,031万円(4.6%増)
交通災害共済事業	608万円(4.7%減)
公共下水道事業	14億9,100万円(11.1%増)
農業集落排水事業	7,929万円(2.8%減)
営農飲雑用水事業	3,924万円(44.2%増※1)
介護保険事業	37億2,508万円(1.1%減)
後期高齢者医療事業	3億9,742万円(0.7%減)

※1 水道事業との統合準備のために経費が増。

■企業会計(前年度比)

水道事業歳入	12億4,170万円(2.7%減)
水道事業歳出	17億2,101万円(2.8%減)

社会福祉の充実のため、社会福祉施設の管理運営や生活保護などの経費です。

■衛生費

11億3,425万円(11.7%減)

市民の健康保持や増進のための経費、ごみ収集運搬処理などの経費です。ごみ処理に係る最上広域分担金の減少などで減額となりました。

■労働費

4,029万円(19.9%減)

労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費です。貸付制度の利用実績に合わせて予算を見直しています。

■農林水産業費

10億4,276万円(4.2%減)

農林漁業の振興、技術の普及などにかかる経費です。

■商工費

7億5,782万円(22.2%減)

商工観光の振興と、中小企業の育成、企業誘致などにかかる経費です。昨年度は中核工業団地の未分譲用地購入経費を二括計上するなどしており、それらの事業終了により減額となっています。

■土木費

13億8,898万円(9.5%減)

道路などの公共施設整備や維持管理にかかる経費で、除雪関連経費も含まれます。補助事業の国の内示率が減少していることから減額となっています。

■消防費

6億3,579万円(31.8%減)

災害から市民の生命や財産を守るための経費です。同報系防災行政無線整備事業が終了したため、大きく減額しました。

■教育費

13億3,668万円(24.5%減)

学校や社会教育などの教育行政、文化財保護などにかかる経費です。陸上競技場の改修が完了したことで予算規模が縮小しています。

■公債費

14億1,274万円(0.8%減)

事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債(借金)の返済金です。



新庄市 まちづくり総合計画 重点プロジェクト

1



雇用・交流拡大 プロジェクト

～働く場の確保・地域産業の振興・地域の魅力情報発信・
多様な交流など～



雇用・交流拡大プロジェクト 主な事業（事業費／担当課）

■園芸大国やまがた産地育成事業

特定の花き・果樹・野菜などの園芸作物生産を行う農業経営体に対し補助金を交付します。
（1,942万円／農林課）

■畜産経営競争力強化支援事業

畜産に取り組む農業経営体に対し補助金を交付して支援します。
（1,210万円／農林課）

■担い手総合支援対策事業

地域農業の体質強化のため意欲ある担い手の経営を支援します。
（9,372万円／農林課）

■若者園芸実践塾運営事業（仮）担い手育成支援センター設立事業

園芸作物等の栽培・経営ができる青年農業者を育成します。また、就農希望者とその希望に応じ専門知識を習得でき、現在の園芸塾機能も併せ持った機関設立の検討を進めます。
（800万円／農林課）

■新庄そばまつり運営事業

そば処新庄をアピールするためのイベント開催。各地で開催されるイベントへの出展。
（95万円／農林課）

■基盤産業強化アドバイザー派遣

生産改善や販路拡大など、企業が抱える課題解決に向けた助言を行う専門家を派遣します。
（80万円／商工観光課）

■企業立地等雇用促進奨励金

工場などの新設・増設・移設に伴って新たに社員を雇用した企業に奨励金を支給。
（1,300万円／商工観光課）

■地元定着型キャリア教育

小中高生の地元就職に対する意識醸成のため、工場見学ツアーや学校での出張職

業体験会を実施します。

■ふるさと企業訪問奨励事業 （60万円／商工観光課）

若年者が就職活動などの理由で市内企業を訪問する際、その旅費などを支援。
（110万円／総合政策課）

■ふるさと応援隊事業

本市出身者など、新庄を応援したいという方を募って交流を進めながら、本市の観光や物産を広く知っていただく事業を行います。
（200万円／商工観光課）

■イメージキャラクターブランディング事業

地域おこし協力隊を新たに採用し、かむてんを通して市内の様々な情報などを発信するとともに、更なるブランド化を図ります。
（341万円／商工観光課）

■インバウンド誘致キャンペーン事業

海外から本市を訪れる外国人旅行客を増やす取り組みを行う組織に負担金を拠出。
（150万円／商工観光課）

■新庄市特産品販売拡大事業

首都圏におけるアンテナショップ出店。
（200万円／商工観光課）

■都市×田舎交流促進事業

地域資源を活用し、都市と農村の交流を通じて知己の活性化を図ります。
（8,550万円／商工観光課）

■エコジョーガーデン推進事業

建造物登録有形文化財である建造物群の維持・保存のための管理、修繕などを実施するとともに、キトキトマルシェやキトキト環境芸術祭の開催など積極的な活用により交流人口の拡大を推進します。
（1,121万円／商工観光課）

Pick Up!

■道の駅基本構想策定事業 (389万円／都市整備課)

道路利用者に対する「休憩機能」や「情報発信機能」に加え、近年は、農産物直売所やレストランなどの「地域連携機能」が重視されている「道の駅」。その整備については、市議会から提言もいただいています。「まち」の観光資源や特産物を活かして「ひと」を呼び、地域に「しごと」を生み出す「地方創生の拠点」とすることを目指し、導入施設や候補地、概算事業費などを検討します。

■商業地域空き店舗等出店支援事業 (200万円／商工観光課)

中心市街地における商業機能の活性化および起業・創業を支援するために、中小企業者等が商業地域の空き店舗を活用し出店する事業に対して、対象経費の3分の1(上限50万円)の補助金を交付します。

■6次産業化推進事業 (490万円／農林課)

農業・商業・観光など農業を取り巻く異業種間のネットワークである「新庄市6次産業化推進協議会」により実践的なセミナーの開催・商品開発支援などを行うとともに、6次産業化に取り組む農業者の施設整備などに必要な費用の一部を助成し、地域の事業者の6次産業化を支援します。

また、市固有の農産物や食文化をパッケージした農産物加工品のブランド商品群「SHINJO ii-nya FOOD(しんじょういいにゃフード)」の開発と販路拡大に引き続き取り組みます。

■元気な集落営農創生事業 (500万円／農林課)

米の生産数量目標を達成するための農業経営体制を構築し、米価が維持できる土地利用型転作作物の振興を進めるため、大豆やそば、飼料作物の生産組織が転作田で簡易な排水対策を行った場合の事業費などを助成します。

■企業力強化支援事業 (400万円／商工観光課)

中小企業などの経営基盤の強化や事業規模の拡大を促進し、地域経済の活性化やものづくり産業の振興を図るための「商談会出展支援事業」、「新製品開発支援事業」、「情報発信力強化支援事業」を実施し、地域の企業力を強化していきます。

新庄まつり振興事業 (3,520万円／商工観光課)

昨年ユネスコ無形文化遺産に登録された新庄まつりの、安全かつ円滑な運営およびまつり開催による更なる観光振興と地域活性化を目指し、次のような事業を行います。

■新庄まつり実行委員会負担金

「新庄まつり百年の大計・第3期計画」に盛り込まれた各種施策の進行管理と推進を図るとともに、安心・安全な祭り運営の強化を図ります。ユネスコ無形文化遺産登録記念事業として、新庄まつりの核である本まつりのスタンド席の無料化を行い、多くの方々が観覧できるよう充実させるとともに、今後の誘客拡大へとつなげていきます。また、首都圏に山車を派遣し、新庄まつりのPRを行います。

■山・鉾・屋台行事観光推進ネットワーク設立総会への参加

ユネスコ登録を契機に関係市町が連携し、山・鉾・屋台行事の観光への活用やピーアールなどについて協議するためネットワークに加入します。

■新庄まつりラッピングトラック張替業務委託

現在運行している6台のうち2台を張替し、ユネスコ登録のピーアールに努めます。

■「新庄まつりの山車行事」多言語パンフレット作成業務委託

訪日外国人に対応するため、4か国(英語、中国語、台湾語、韓国語)の多言語パンフレットを作成し、新庄まつりの魅力を

ピーアールします。

■日本の伝統まつりポスターコンクール実行委員会負担金

日本国内各地の伝統の祭り広報用ポスターを一堂に集めて展示し、それぞれの伝統の祭りの相互理解を深め、交流人口拡大による地域の活性化を図ります。



▲まるごと山形祭りだワッショイ(山形市)への山車派遣(平成28年10月)



新庄市 まちづくり総合計画 重点プロジェクト

2



安全・安心充実 プロジェクト

～健康増進・福祉サービス充実・防災・克雪対策・
地域公共交通など～



安全・安心充実プロジェクト 主な事業（事業費／担当課）

■在宅老人福祉事業

老人クラブの活動支援、高齢者の除雪の負担を減らすサービスなどを行います。

（886万円／成人福祉課）

■障がい者支援事業

地域における共生社会の実現に向けて、障がい者の日常生活および社会生活の総合的な支援を図ります。

（8億9,566万円／成人福祉課）

■福祉タクシー券・給油券助成

身体障害者手帳3級の二部を新たに助成対象とします。（191万円／成人福祉課）

■健康増進事業

かむてん健康マイレージで健診や健康づくりの取り組みを応援します。また、ラジオ体操のプラス10事業を継続し、ラジオで生放送される、夏期巡回ラジオ体操を8月13日に開催します。

（5,777万円／健康課）

■予防接種事業

感染症の発症予防のため、小児などに予防接種を行います。

（6,980万円／健康課）

■若年者特定健診事業

新たに30歳代の国保加入者を対象に無料で特定健診を行います。

（107万円／健康課）

■消防施設整備事業

計画に従い、小型動力ポンプと小型動力ポンプ積載車の更新などを行います。

（2,745万円／環境課）

■非常備消防運営事業

消防団員の冬季の安全・快適な活動のため防寒着を支給します。

（1,970万円／環境課）

の早期検挙に寄与します

（180万円／環境課）

■しんじょうハートシル事業

小型家電リサイクルに障がい者福祉施設と連携して取り組みます。

（0.8万円／環境課 ※市と施設との協働による取り組みです）

■容器包装リサイクル事業

食品トレーリサイクルに周辺町村と連携して取り組みます。（601万円／環境課）

■都市マスタープラン見直し事業

平成8年に策定した現行プランについて、土地利用や道路整備状況などの現状を踏まえ、全体構想を策定します。

（693万円／都市整備課）

■住宅リフォーム総合支援事業

住宅の質の向上と地域経済の活性化のため、リフォーム工事に補助金を交付します。（4,030万円／都市整備課）

■雪総合対策事業

克雪対策推進のため、流雪溝整備を進め、その利用組合の活動などを支援します。（1億8,517万円／都市整備課）

■道路長寿命化事業

計画に基づき、道路施設の補修更新を行い、長寿命化を図ります。

（4,050万円／都市整備課）

■空き家対策計画策定事業

外部委員会を設置し、空き家問題解消に向けた計画を策定し、検討していきます。（229万円／都市整備課）

■市営東山団地1号棟外壁改修事業

住戸内の断熱機能の向上及び結露防止を目的に、外壁断熱工事及び樹脂内窓の設置を行います。※H28繰越事業

（6,360万円／都市整備課）

■公共下水道管渠建設事業

計画的な管渠工事を進め、下水道の普

Pick Up!

看護師確保・養成に関する事業

- 看護師養成機関開設準備事業(37万円／総合政策課)
- 看護師育成修学資金支援事業(124万円／教育総務課)

不足する看護師および准看護師について、本市の出身者で看護師の養成機関を卒業し、資格取得後、最上地域の医療機関、福祉施設などで看護師などとして就業する意思のある者を対象にして、無利子の修学資金を貸与します。



▶看護師育成修学資金に関し、最上圏域全体で取り組むため、制度に係る協定を締結しました。(3月22日／市民プラザ)

また、看護師を地元で育成する仕組みをつくり、若者の地元定着と医療機関等に従事する看護師を確保するため、新庄最上圏域での看護師養成機関の設置・開設に向けた準備を進めます。平成29年度は準備期間として、看護師養成機関の設置に関する基本的事項を整理し、設置・運営主体の検討、建設地の選定、教員の確保、許認可手続きなどの準備を行います。

また、新庄市だけでなく通学が可能な町村からの学生も対象とすることを想定し、近隣町村との連携の枠組みなどについて検討を進めます。

■除雪管理システム導入事業

(1,698万円／都市整備課)

除雪情報を充実させるための方策として、除雪の運行状況をリアルタイムで確認できるGPSを利用した除雪管理システムを導入します。除雪状況をリアルタイムで把握できるため、より迅速・適正な除雪作業が可能となり市民サービスの向上が図られます。新庄市除雪管理システム(GPS利用)導入業務委託事業として、次の内容を予定しています。
(ハードウェア)GPS専用端末120台 (ソフトウェア)除雪システム利用料1式
(除雪管理システム構築)除雪路線データ作成及びシステムの構築

■地域公共交通網形成計画策定事業

(917万円／総合政策課)

通勤・通学・通院・買い物などの市民生活を支える足として機能している市内の公共交通機関ですが、人口減少や自家用車の普及などにより運営主体の収益が悪化し、その機能維持が難しくなっています。その一方で、社会の高齢化などとあいまって今後重要性は高まるものと考えられます。本市の地域特性や交通現況、需要を調査し、持続可能な公共交通網再構築のための計画を策定するものです。

■新庄シティハーフマラソン大会開催事業(720万円／社会教育課)

陸上競技場の改修を記念し、「新庄ロードレース大会」と「いものこマラソン大会」を統合したシティハーフマラソン大会を開催します。幅広い年齢層の健康増進及び体力の向上を図るため、誰もが気軽に参加できる大会を予定しており、生涯スポーツの推進を図ることはもとより、参加者に新庄市の自然や歴史、風土などを実感していただくとともに市の観光振興にも繋げていきます。

- 開催日予定 平成29年10月7日(土)
- 種目1km、5km、10km、ハーフ、ウォーキング

■防災対策推進事業

防災訓練や物資の備蓄、自主防災組織を育成・充実するための事業などを行います。
(319万円／環境課)

■防犯灯LED化更新補助事業

省エネルギーで耐用年数の長いLED灯への更新を引き続き進めます。
(1,120万円／環境課)

■街頭防犯カメラ整備事業

犯罪や事件の防止、また万一発生した際

及拡大を進めます。

(2億8,369万円／上下水道課)

■日新中学校大規模改修事業

築30年が経過しており、バリアフリーに配慮した施設の老朽化対策を実施します。

※H28繰越事業

(5億2,166万円／教育総務課)



新庄市 まちづくり総合計画 重点プロジェクト

3



子育て・人づくり プロジェクト

～子育てや教育環境の充実・地域づくりなど～



子育て・人づくりプロジェクト 主な事業（事業費／担当課）

■明倫学区義務教育学校建設事業

■放課後児童クラブ整備事業

義務教育学校の校舎及び体育館などの基本設計業務を進めます。また、学区内の小学6年生までの児童を対象とした放課後児童クラブ施設の基本設計も学校整備と一体的に進めます。

（7,061万円／教育総務課、246万円／子育て推進課）

■ふるさと創生人材確保事業

将来の製造業や保育の担い手を育成するため、無利子で奨学金を貸与します。卒業後、市内に就職した場合には返還金額の半分会免除します。

（6,960万円／教育総務課）

■若者定着奨学金返還支援事業

将来の担い手となる若者の市内回帰・定着を促進するため、県と連携して、奨学金の返還を支援します。

（374万円／教育総務課）

■学校支援地域本部事業

市内小中学校などに地域コーディネーターを配置し、学校図書館の整備や充実を図ります。

（1,503万円／学校教育課）

■国際理解教育推進事業

本市には現在3名の語学指導員（ALT）がいますが、国の英語教育強化を受け、新たに1名増員します。

（1,761万円／学校教育課）

■児童生徒個別支援事業

自閉症などにより個別に教育的支援が必要な児童生徒の対応を行う指導員を各学校に配置します。

（3,185万円／学校教育課）

■文化財保護管理事業

貴重な財産である文化財を後世へ継承するため、新庄藩主戸沢家墓所の補修、新庄まつり山車行事保存会や新庄亀綾織伝承協会など団体の活動支援、文化財保全活動や新たな文化財を調査・発掘する専門調査員の配置を行います。

（2,164万円／社会教育課）

■南東北インターハイ・バドミントン競技開催事業

南東北三県（山形県・宮城県・福島県）で開催される「全国高等学校総合体育大会」のうち、鶴岡市・尾花沢市とともにバドミントン競技が本市で開催されます。この大会の円滑な運営を支援するとともに、本市の魅力を積極的に発信していきます。

●開会式 7月29日（土）

●競技 7月30日（日）～8月3日（木）

（1,022万円／社会教育課）

■市民文化会館駐車場改修事業

経年劣化による損傷が激しいことから、改修を行います。

（2,221万円／社会教育課）

■市民球場人工芝改修事業

経年劣化による損傷が激しいことから、改修を行います。

（794万円／社会教育課）

■環境教育推進事業

環境サミットや親子で参加する体験学習教室などを通し環境保全活動を推進する人材を育成します。

（170万円／環境課）

Pick
Up!

世界陸上メダリスト 「為末大」に学ぶスポーツ

新庄最上唯一の陸上競技場のリニューアルを記念し、スプリント種目の世界大会で日本人初のメダリストをゲストに招き、スポーツの力、走ることの楽しさを体感します。

■とき 5月6日(土)
■ところ 市陸上競技場
(荒天時 市体育館)



■内容

①トークセッション(10:00~)

為末大氏と齊藤邦秀氏(スポーツトレーナー／最上町出身)のトークセッション。「なぜスポーツをするのか?」をテーマに、トレーニングや健康志向などについて、二人のプロが熱く語ります。

②かけっこ教室(10:30~)

※対象／小学校高学年から中学生80名程度

為末氏が世界のトップと互角に渡り歩いて身に付けた「走りの極意」を目で見て、耳で聞いて、体で覚えて、レベルアップを目指します。

③50メートルタイムトライアル(13:30~)

為末氏から学んだかけっこ教室の内容を復習しながら、NPO法人新庄最上アスリートクラブのスタッフが補足指導します。

100分の1まで計測できる電気計測器で正確なタイムを計ります。その日の最速タイムが初代のスタジアムレコードに。子どもたちだけでなく、誰でも参加可能です。

■主催:新庄市・金山町・最上町・舟形町・真室川町・大蔵村・鮭川村・戸沢村

■共催:最上地区体育協会連絡協議会、NPO 法人新庄最上アスリートクラブ(SMAC)

■後援:最上管内市町村教育委員会、新庄地区陸上競技協会

◎かけっこ教室・タイムトライアルについては、4月30日(日)までに事前申込が必要です。

申込み先:トップアスリート招聘事業実行委員会事務局(新庄市社会教育課)Tel内線471、ファクス23-5600

結婚や子育て支援に関する事業を一部紹介します

■子ども・子育て支援新制度事業

(9億2,157万円／子育て推進課)

国の制度に則り、保育サービスを必要とする家庭が利用しやすい環境・体制づくりに引き続き取り組んでいきます。また、昨年度から始めた「病児・緊急対応強化事業型ファミリー・サポート・センター事業」について、買い物時や放課後の預かりなど、緊急時以外での利用を対象とした基本事業型を併せて実施します。

■第3子以降児童保育料等免除・無償化事業

(3,489万円／子育て推進課)

市の公立保育所などを利用している第3子以降の児童の保育料金を全額免除します。また民間立保育施設などにも、その金額分を補助金として交付し、同等の効果を図ります。

■子育て支援医療給付事業

(1億3,304万円／子育て推進課)

中学3年生までの医療費を引き続き無償化します。

■母子保健事業

(2,957万円／健康課)

妊娠期から出産期、子育て期に至る切れ目のない支援ができるよう様々な事業を実施します。また、この事業や関係機関が実施する事業を整理調整し、ワンストップで相談支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設置検討を進めます。

■ようこそ赤ちゃん安心子育て応援事業

(90万円／健康課)

出産から子育て期に至るまでの支援のきっかけとするため、応援メッセージと赤ちゃんギフトを贈ります。

■結婚・子育てポジティブキャンペーン事業

(56万円／総合政策課)

特に若年女性に対し、本市での結婚、妊娠、出産、子育てに対する前向きなイメージを醸成するため、意識調査や意見交換、情報発信を行います。

■結婚活動支援事業

(71万円／総合政策課)

未婚者に対するスキルアップセミナーなどを開催。

■子育て応援企業支援事業

(122万円／総合政策課)

子育て応援に積極的な企業を支援します。

■若者世帯住宅取得支援事業

(2,000万円／総合政策課)

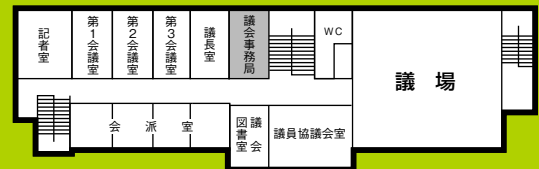
若者世帯、特に子育て世帯の住宅取得に対する負担を軽減することで定住を促進することなどを目的に、一定条件に基づき、住宅取得費用の一部を助成します。



平成29年度市の組織体制をお知らせします。

市役所では、新たに8人の新規採用職員・総務省より総合政策課参事(地方創生担当)を迎え、総勢284人の正職員に、臨時嘱託職員も加わり平成29年度の事務事業に取り組んでいきます。各課を取りまとめる課長や、担当事務ごとにおかれた室、各課の正職員数をお知らせします。今年度もよろしくお願いいたします。

3階



地域力

あうまち

教育力



健康課

課長 田宮 真人

- 国保医療室
 - 母子保健推進室
 - 健康推進室
- 職員数19名
※派遣職員なども含む



選挙管理委員会事務局

事務局長 亀井 博人

職員数2名



市民課

課長 高山 学

- 住民戸籍室
- 職員数14名



会計課

課長 伊藤 洋一

兼会計管理者
職員数5名



税務課

課長 松坂 聡士

- 課税室
 - 資産税室
 - 納税室
- 職員数27名



農林課

課長 小野 茂雄

- 農政企画室
 - 農業・林業振興室
 - 農村整備室
- 職員数14名



子育て推進課

課長兼福祉事務所長

滝口 英憲

- 子育て企画室
 - 保育推進室
- 職員数36名
※保育士・調理師を含む



成人福祉課

課長兼福祉事務所長

加藤美喜子

- 生活支援室
 - 高齢障害支援室
- 職員数18名



環境課

課長 小松 孝

- 環境保全室
 - 地域防災室
- 職員数11名



上下水道課

課長 奥山 茂樹

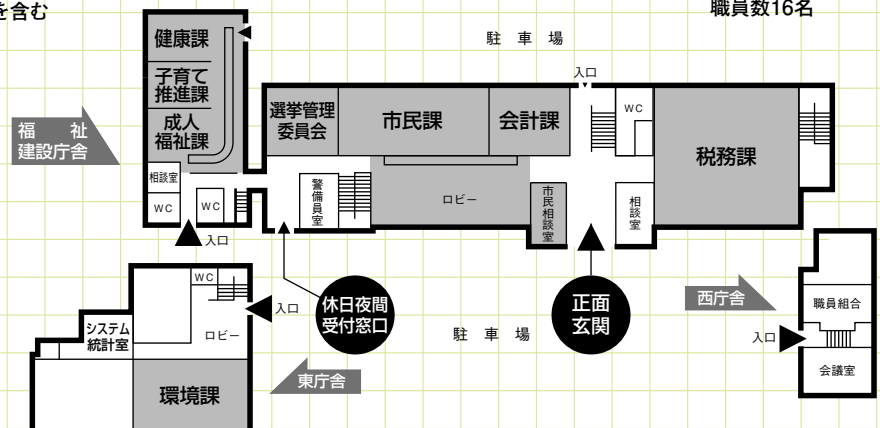
- 業務・普及室
 - 給水・施設整備室
 - 下水道業務・普及室
 - 下水道施設整備室
- 職員数16名



農業委員事務局

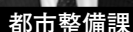
事務局長 三浦 重実

職員数4名



1階

經濟力



- 都市計画室
- 雪対策室
- 道路維持管理室
- 建築住宅室
- 高速道路対策室

●高速道路対策室
職員数22名※派遣職員なども含む



総合政策課

課長 関 宏之

参事 福田 幸宏

総合政策課付課長

武田信也

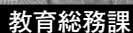
●企画政策室 ●地域支援室 ●システム統計室 ●広報・総合情報室
職員数16名 ※派遣職員なども含む



課長 板垣 秀男

- 財政運営室
- 契約管財室

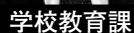
職員数11名



教育次長兼課長

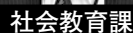
荒川 正一

職員数6名



課長 齊藤 民義

職員数17名
※学校用務員・調理師を含む



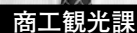
課長 荒澤 精也

職員数12名
※歴史センター職員を含む



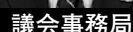
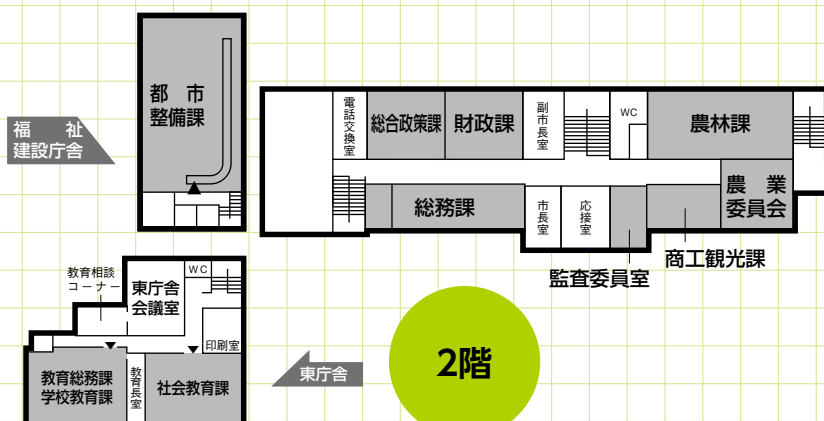
課長 齊藤 彰淑

●秘書職員室
●行政法令室
職員数13名
※派遣職員なども含む



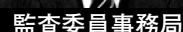
課長 渡辺 安志

●企業立地・商工振興室
●観光交流室
●クールジャパン新庄推進室
職員数15名



事務局長井上 音

職員数4名



事務局長平向 直也

職員数2名

持続可能な行財政運営を行うために

「新庄市公共施設等総合管理計画」を策定しました

本市が所有している公共施設等(インフラ施設を含む)は、今後一斉に老朽化の時期を迎え、維持管理や更新(建替え)に多額の費用を要すると予想されています。そのため、全ての施設を将来にわたり維持していくことは、非常に難しい状況にあります。このような状況をしっかり把握し、市民の皆さまと情報を共有しながら、公共施設全体の今後のあり方を一緒に考えていく必要があります。

課題1 人口減少と少子高齢化

本市では、平成7年頃から人口の減少が始まり、今後も減少が続くと推計されています。

その影響で、生産年齢人口(15～64歳)の減少による市税などの収入減少や、少子高齢化の進展による社会保障費などへの支出増加が顕著となり、投資的経費(公共施設整備に使えるお金)の減少が課題となっています。

また、人口動態の変化により利用者ニーズも変化するとともに、施設の利用者数も減少傾向にあります。

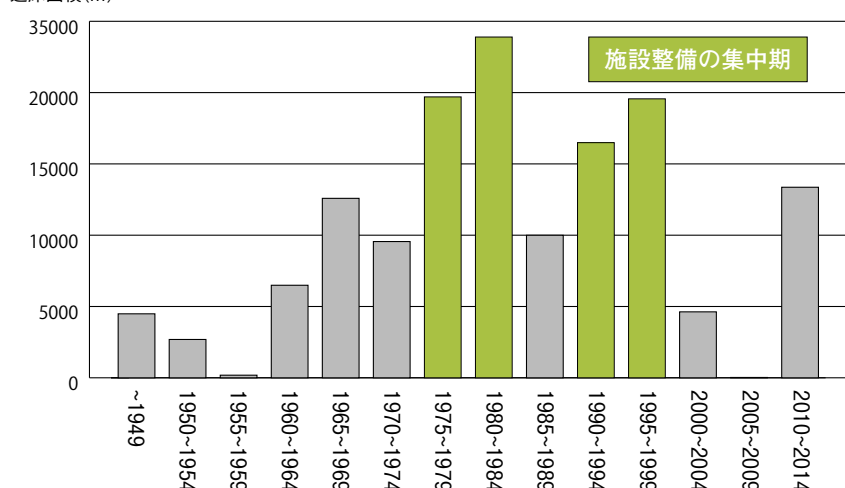
新庄市の人口推移 平成7年／42,896人→平成27年／36,884人 20年間で6,000人減少

課題2 建築時期の集中と老朽化

本市では、2つの施設整備の集中期があり、特に昭和50年代(1975～1984年)に現在の施設の3分の1以上が整備されています。また、建築後30年以上経過した施設の割合(延床面積)は57.1%となっており、年々増加していきます。

建物系施設の多くは、概ね20～30年を経過した段階で改修工事を行い、50～60年間良好な状態で使い続けることができるよう管理することが必要です。今後これらの施設が一斉に老朽化し、多額の費用が必要になります。

延床面積(㎡) 建築年度別の延床面積

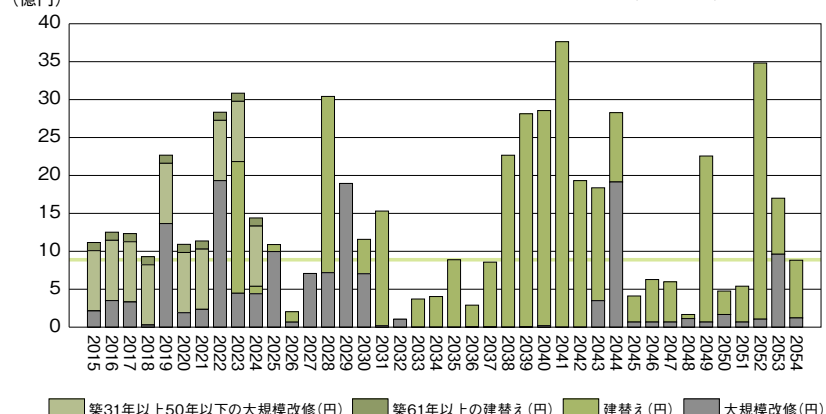


課題3 財政負担の増加

現在と同じ施設数・規模で更新した場合の試算では、ピーク時に年間で30億円以上もの更新費用が必要となり、40年間の年平均では、約14.6億円が必要となります。

今後、更新費用として支出可能な財源の見通しは年間約9億円と予測しており、**毎年5.6億円の財源が不足**します。

(億円) 建物系施設とインフラ施設の更新費用推計(40年間)



これらの課題を解決するために

今後も持続可能な行財政運営を行うため、将来を見据えた公共施設等のあり方を検討し、提供する公共サービスの優先度や施設規模の検証を行うことで、真に必要な公共サービスを継続的に提供していくことが求められます。

そのため、長期的な視点に立って公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的に「新庄市公共施設等総合管理計画」を策定しました。計画の中では、次の3つの目標を掲げて、公共施設マネジメントに取り組んでいきます。

目標1 施設総量の最適化(量の見直し)

財政状況や人口規模、利用状況の動向を踏まえて必要な機能(サービス)の見直しを行うとともに、公共サービスは「施設ありき」を前提にするのではなく、施設の持つ「機能」を重視することで、機能を維持しながら施設の統廃合を進め、施設数の縮減を図ります。結果として、建物系施設の総量(延床面積)を **10年間で5%縮減**することを目標とします。

目標2 効率的な維持管理の推進(質の見直し)

公共施設等を健全な状態で管理し、利用者の安全を確保するため、従来の「事後保全」から「計画的保全」へと転換を図り、計画的な改修や維持管理業務の見直しなどにより、施設にかかるライフサイクルコスト※1の低減に努めます。

目標3 まちづくりとしての施設の有効活用

公共施設の複合化や多機能化などにより公的不動産の有効活用を図り、魅力あるまちづくりを目指します。

管理に関する基本的な考え方

建物系施設	利用者の視点に立った公共サービスの内容や使用方法の見直しを行い、延床面積の縮減と維持管理の効率化を進めます。 ○施設整備事業を行う場合は、原則として単独の施設整備は行わず、統廃合を進めます。 ○施設の統廃合による「複合化」や「集約化」を進め、施設の多機能化を図ります。 ○PPP※2／PFI※3など施設の整備や管理に民間活力の導入を検討します。 ○計画的に保全や改修を行う「計画的保全」へと転換を図り、ライフサイクルコストを縮減します。
インフラ系施設	道路、橋りょう、上下水道施設を縮減することは現実的ではないため、老朽化への適正な対策と維持管理の効率化を図っていきます。 ○定期的な点検・診断により、劣化や損傷による危険や機能障害を回避します。 ○施設を健全な状態で管理するため、「計画的保全」の維持管理へと転換を図ります。 ○耐震化などの安全性、経済性、財源などの観点から計画的に長寿命化を推進します。 ○周辺自治体との広域連携や包括的な民間委託契約など、効率的な維持管理手法を検討します。

新庄市公共施設等総合管理計画のポイント

ポイント1 今のままでは、将来、公共施設などの維持が難しくなります。

ポイント2 公共施設のサービスを継続するためには、必要な機能を選択し、施設をできるだけ効率的に、長く使えるようにする工夫が必要です。

この計画を基に、今後も市民の皆さまと情報を共有しながら、具体的な取り組みを進めてまいります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◎詳しくは、財政課施設マネジメント推進室へ。Tel内線242 計画の全文は市ホームページでご覧いただけます。

※1 ライフサイクルコストとは、建物の設計費、建設費などの初期投資(インシャルコスト)と、修繕・改修費、運営費などの管理運営費(ランニングコスト)及び解体処分費を合わせた建物の生涯に必要な総費用のことです。

※2 PPPとは、Public Private Partnershipの略で、行政と民間が協力して公共サービスを効率的に運営する手法のことで、官民パートナーシップ、官民連携とも呼ばれています。

※3 PFIとは、Private Finance Initiativeの略で、公共施設等の整備、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法です。PFIは、PPPの代表的な手法の一つです。

2/25 第34回新庄のひなまつり展
～4/4 ♪ ふるさと歴史センター



○ 期間中、約700体のひな人形やひな飾りが展示されました。

3/3 アベルんち図書寄贈
♪ 市役所



○ 家庭教育応援・ボランティア活動団体「アベルんち」より寄贈頂きました。

3/11 地域おこし協力隊活動報告会
♪ 市民プラザ



○ 地域おこし協力隊隊員4名が、これまでの活動報告などを行いました。

3/12 第12回市民プラザまつり
♪ 市民プラザ



○ 市民プラザの利用団体51団体による展示や発表などが行われました。

3/18 山本公一環境大臣来新
♪ 株式会社ヨコタ東北



○ この日、環境への取り組みを視察するため、山本環境大臣が本市を訪れました。

3/21 民間派遣職員施策提案会
♪ 市役所



○ 株式会社電通に派遣されている職員による、市への施策提案会が行われました。

3/22 最上地域の看護師確保を推進
♪ 市民プラザ



○ もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会総会が行われました。

3/22 看護師養成に向けて
♪ 市民プラザ



○ 地域の看護学生のために看護師育成最上地域修学資金制度協定が締結されました。

3/22 国土交通大臣表彰受賞報告
♪ 市役所



○ 新庄市エコロジーガーデンの取り組みが国土交通大臣表彰を受賞しました。



写真で見る平成28年度の主な出来事



4月 新庄エコロジーガーデン内に
コミュニンAomushiがオープン



7月 kitokito マルシェ5周年



8月 ユネスコ無形文化遺産に
向けて新庄まつりが開幕



9月 フラワーフェスティバル2016
花いけバトル初開催



10月 山形市開催イベントに
新庄まつりが登場



12月 陸上競技場改修工事完了



12月 新庄まつりがユネスコ無形
文化遺産に登録



12月 新庄もがみ漫画ミュージアム
がゆめりあ内にオープン



1月 新庄まつりユネスコ無形文化遺産
登録を記念した催しが開催

今月の新着

郷土本

あっちゃんとおっちゃん(館内でご覧になれます)
 家庭教育応援・ボランティア活動団体
 「アベルんち」
 女性と昔話 野村敬子

一般図書

公益財団法人全日本軟式野球連盟70年史(2巻1組)
 公益財団法人全日本軟式野球連盟
 終りなき夜に生れつく 恩田陸
 今ひとつの、和泉式部 諸田玲子
 無意味な人生など、ひとつもない 五木寛之
 世界の夢の本屋さんに聞いた素敵なお話
 ボブ・エクスタイン
 子供自転車スタートBOOK 樫出版社
 田んぼ、はじめました。 とびやあい
 くらべる時代-昭和と平成- おかべたかし
 血圧の科学 毛利博
 毎日がしあわせになるはちみつ生活 木村幸子
 牛乳パックで作る小さな布箱 プティック社

児童書

おばけとおでかけ 新井洋行
 コウノトリのコウちゃん かこさとし
 どこじゃ?かぶきねこさがし 瀧晴巳
 天の川のラーメン屋 富安陽子
 明智小五郎(はじめての
 ミステリー名探偵登場!)
 江戸川乱歩
 ときめき百人一首
 (14歳の世渡り術)
 小池昌代
 ぞうさんきかんしゃぽっぽぽ
 (紙芝居)
 とよかずひこ



今月のお知らせ

4月から開館時間が変わります。

- 火曜日から金曜日 9時～19時
- 土・日・祝(月曜日を除く)9時～17時
- ※ 平日は2時間延長になりますのでぜひご利用ください。

ブックスタート(4か月健診時)

- とき 4月26日(水)13時～
- ところ 保健センター
- 内容 4か月健診を受けたお子さんのために本をプレゼント



ゆったり、のんびり。読書の時間

図書館に行こう!

図書館でゆったりすごしてみませんか?

ちょっと深い しんじょうの歴史

ちょっとした話題とその出典を毎月紹介!

右 藤沢周平を読む『歴史読本』編
 (「上意改まる」収録)/新人物往来社
 左 最上郡史料叢書/嶺金太郎編
 ※いずれも市立図書館蔵書



藤沢周平の作品「上意改まる」の題材となった新庄藩のお家騒動「片岡騒動」は、石川町が舞台になった。家老として権勢を誇っていた片岡理兵衛とその妻子、弟の小林多兵衛、片岡藤右衛門の全員が誅殺されるといふ大事件で、三人は、石川町に屋敷があった。その屋敷の現在地がどこなのかを推定できる良書がある。「最上郡史料叢書」で、「新庄家中屋敷割」の史料には、宝暦年中の屋敷割絵図と藩政草創期から維新前後までの屋敷主の変遷、その屋敷の大正期の地番があり、その地番から屋敷地を割出すことができる。それによれば、理兵衛宅は、石

第1回 「片岡騒動」の現場検証

武田一夫氏

川町から松町に抜ける新しい道路の両隣の約九百坪の土地に、多兵衛宅は、その向かい側の横町からの道路とその北側の約三百六十坪の土地に、藤右衛門宅は、東側の家並み北端の約千二百五十坪の土地にあったことが分かる。また、三の堀堰までの旧家中屋敷地であれば、同じ方法で、昔の屋敷主を知ることができる。同書に「新庄家中屋敷割絵図」という地図もあり、それを片手に町歩きするのも楽しいかと思う。



▲片岡理兵衛の屋敷地跡

ヤマハの教室は5月スタート! 4月(今春)最後の無料体験レッスンです!

ヤマハ音楽教室



コース	16日(日)	23日(日)	ねんれい	コース	16日(日)	23日(日)
4月開講	らっきークラス	金 10:30	1才	H27.4.2～H28.4.1	えいごでいっしょ	13日(木)10:00
	ぶっふるクラス	土 10:00	2才	H26.4.2～H27.4.1	リズムポケット	10:00
おんがくなかよしコース		10:00	3才	H25.4.2～H26.4.1	ポップコーントーク	10:00
幼児科	13:00	11:00	4/5才	H23.4.2～H25.4.1	TALKidストーリーキッズ	11:00
ジュニアスクール基礎	14:30	13:00	小学生	小学1・2・3年生	ジュニアえいごBasic	13:00
				小学4・5・6年生	ジュニアえいごProgress	14:00

※ 個人レッスン随時入会受付中

ヤマハ英語教室
 Yamaha English School



お問い合わせ・お申し込みは

TAZAWA 音楽センター

TEL. 22-2757

市内全域で【春季火災予防運動】を実施します

春は強風・乾燥の日が多く、林野火災、野火が発生しやすい時期です。
この時期にあわせて火災予防運動を実施し、防火広報活動をはじめ、サイレン吹鳴による火災予防の啓発を図ります。火の元には十分注意しましょう。

実施期間 4月16日(日)～22日(土)

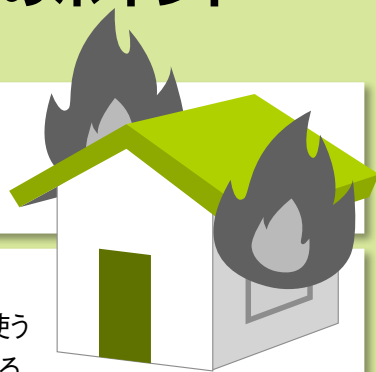
住宅防火 いのちを守る 7つのポイント —3つの習慣・4つの対策—

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- 寝具・衣類・カーテンからの火災を防ぐために、防災品を使う
- 火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器などを設置する
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる



以上のことに注意し、住宅火災を予防しましょう。



春季消防演習をおこないます



市民の皆様ぜひご参観下さい

とき:4月30日(日)

- 分列進行 8時頃 本町・駅前・馬喰町通り
- 観覧・通常点検 9時30分頃 新庄中学校グラウンド
- 一斉放水 12時45分頃 最上公園堀端一帯



ラッパ隊員募集



消防団員を鼓舞する ラッパを吹奏しませんか

市消防団では、春の大演習・夏の操法大会・新年の出初式などでラッパを吹奏する団員を募集しています。災害現場に出場せず、ラッパの吹奏に専念するラッパ隊員として入隊しませんか。

◎環境課地域防災室 TEL内線437

人と接する仕事が好き!
福祉に興味があり経験を積みたい!
利用者の可能性を引き出したい!

募集! 看護師 & 生活支援員
しょうがい者の暮らしをささえるお仕事です。

年齢・性別 経験不問 見学・相談 受付中!

【種類】障がい者グループホーム 【応募方法】ハローワーク紹介状
☆グループホームピース(加藤)080[4401]3837 【他】各種保険完備

～極楽セット～
入浴+カット
1,100円

スタッフ募集中!

平日・休日22時まで営業(毎週水曜日は定休日)
スーパー銭湯しみずの湯 新庄ヨークタウン内 ☎28-0020

2月末現在
の新庄人

	36,641 人	(37,083人)	2月の異動
男	17,417 人	(17,641人)	出生 17 人 (19 人)
女	19,224 人	(19,442人)	死亡 47 人 (58 人)
世帯数	13,773 世帯	(13,696世帯)	転入 52 人 (60 人)
			転出 98 人 (102 人)

※()は1年前の日本人+外国人の数です。

- **内容** 助成候補者認定を受けた年度以降に奨学金の貸与を受けた月数に2万6千円を乗じた額、または、奨学金返還残高のいずれか低い額を上限に支援します。
※詳しくは市ホームページで実施要領をご確認ください。
- **定員** 3名
- **申込締切** 4月28日(金)まで

行政相談委員の委嘱

◎市民課市民相談室 TEL内線125

行政相談委員に高倉良子さん、須田泰博さんが4月1日付で委嘱されました。

介護福祉士等修学資金・ 保育士修学資金の貸付

◎山形県福祉人材センター TEL023-633-7739

介護福祉士・社会福祉士・保育士の資格を取得し、山形県内の介護福祉の職場で就労を目指す学生のみなさんへ学費をサポートします

- **貸付内容** ①月額5万円(年額60万円)、②入学準備金20万円、③就職準備金20万円※すべて無利子です
- **貸付期間** 介護福祉士・社会福祉士・保育士養成施設に在学している期間
- **返還免除** 卒業後、5年間継続して介護・福祉・保育士の仕事に従事した方は全額返還免除
- **募集人数** 介護福祉士修学資金 30名程度、社会福祉士修学資金 若干名、保育士修学資金 100名程度
- **申込方法** 入学した介護福祉士・社会福祉士・保育士養成施設を経由しての申込(養成施設の推薦状が必要です)
- **申込締切** 5月19日(金)まで

生活習慣病予防料理教室

◎食改事務局(健康課内) TEL内線513

- **対象** 市内在住の方
- **とき** 5月18日(木) 9時30分～12時
- **ところ** 市民プラザ3階調理室
- **内容** ミニ講話、体操、カロリー控えめなおいしい料理づくりなど
- **参加費** 500円 ■ **定員** 24名

■申込締切 5月12日(金)まで

暮らしに役立つ消費生活講座を開催します

◎新庄市消費生活センター TEL内線126

- **とき** 5月9日(火) 13時30分～16時
- **ところ** ゆめりあ2階会議室
- **内容** 契約の基礎知識、悪質商法や特殊詐欺の手口と対処法、地域での見守りなどをクイズやDVDで楽しく学びます。
- **申込締切** 4月28日(金)まで
- **受講料** 無料 ※どなたでも気軽に参加できます。ぜひおこください。

インターハイ100日前イベント

◎平成29年度全国高等学校総合体育大会山形県実行委員会事務局
TEL023-630-2385

- **とき** 4月23日(日) 13時～15時30分
- **ところ** ゆめりあ
- **内容** 元バドミントン選手・現北都銀行バド部コーチ佐々木翔と同銀行監督原田利雄によるトークショー、開催競技の紹介、高校生による歌や踊りのパフォーマンスなど
- **参加費** 無料

ストレッチと太極拳

◎新庄太極拳愛好会・合田 TEL23-0072

- **とき** ①毎週火曜日19時～21時および毎週金曜日13時30分～15時30分、②毎月第2・3・4火曜日10時～12時
- **ところ** ①わくわく新庄、②雪の里情報館
- **持ち物** 内ばき、タオル、飲料水

夏休み海外研修交流の参加者募集

◎国際青少年研修協会 TEL03-6417-9721

- **対象** 小学3年生～高校3年生
- **とき** 7月26日(水)～8月16日(水)
※行先により8日間～18日間と異なる
- **派遣先** イギリス・オーストラリア・カナダ・サイパン・シンガポール・フィジー・フィリピン
- **内容** ホームステイ・学校体験・英語研修・ボランティア体験・文化交流・地域見学・野外活動など
- **参加費** 24.8万円～63.8万円

催しなど

新庄カド焼きまつり



- **とき** 4月29日(土・祝)～5月5日(金・祝) 11時～16時まで(15時受付終了)
- **ところ** 最上公園内「特設会場」
- **料金** 前売券 / お一人様2,000円(税込)、当日券 / お一人様2,300円(税込)、◇お一人様セット内容 / カド(大1尾)・花見だんご・お茶・山菜のおひたし
※座敷席希望の方は別途300円
- **その他** 都合による不参加等、前売券の払い戻しは行いません。雨天時の場合は、セット内容現品をお渡しいたします。前売券の販売は、4月28日(金)までとなっております。

◎新庄観光協会 TEL22-2340

産直まゆの郷「桜まつり」開催

- **とき** 4月29日(土)9時～18時
- **ところ** 産直まゆの郷
- **内容** 野菜・花・農産物の販売。大好評の「焼きおにぎり」に加え、新庄の春の風物詩「カド焼き」「花見だんご」の販売も行います。「豚汁」サービスあり。

◎産直まゆの郷 TEL23-5007

佐藤廣絵手紙教室・サークル合同作品展

- **とき** 4月1日(土)～5月31日(水)
- **ところ** 雪の里情報館1階 雪国ギャラリー
- **内容** 絵手紙作品の展示
- **入館料** 無料

◎雪の里情報館 TEL22-7891

— いつもそばに、アークベル —
あなたの人生の節目に役立つアークベルメンバーズ

アークベルメンバーズとは…
月々わずか1,000円からの掛金で、ライフプランに合わせ、様々な特典がご利用できる安心のシステムです。ご婚礼、花嫁衣裳、ご葬儀、成人式など、人生の様々な行事でご利用いただけます。

ご葬儀プラン
ご自宅葬、会葬葬、新しい形でのご葬儀など、あらゆるスタイルに対応

各種衣裳プラン
花嫁衣裳・新婦衣裳
成人式衣裳・七五三衣裳など

お問い合わせ Arkbell アークベル新庄 TEL.23-1032
新庄市大字鳥越玉ノ木 1899-9

豊替は信頼のある地元の豊店へ
新庄豊同業組合

矢作豊店 新庄市万場町8-18 TEL(22)1637	中島豊店 新庄市末広町10-13 TEL(22)4370	柴崎豊店 新庄市万場町1-42 TEL(22)4404	笹原豊店 新庄市大町21-15 TEL(22)3358
-----------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

ご利用は新庄市加盟店へ

平成29年度新庄市職員(上級職)採用試験のお知らせ

	生年月日・資格等	採用
上級行政職	次のいずれかに該当する人 ①昭和62年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人	若干名
上級土木	②平成8年4月2日以降に生まれた人で、大学(短期大学を除く。)を卒業した人、又は、平成30年3月までに卒業する見込みの人	
保健師	昭和62年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた人で、保健師免許を有する人、又は、平成30年6月30日までに当該免許を取得する見込みの人	

- 住所要件 採用後、新庄市内に居住する見込みのある人
 - 試験内容 一次試験／教養試験(大学卒業程度)、専門試験、職場適応性検査 二次試験／作文試験、人物試験
 - 受付期間 5月15日(月)～6月19日(月)(必着)
 - 受験申込用紙 新庄市総務課で交付します。郵便で請求する場合は、封筒の表に『受験申込書請求』と朱書きし、120円切手を貼ったあて先明記の返信用封筒(角型2号)を同封のうえ、〒996-8501新庄市沖の町10番37号 新庄市総務課まで。申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
 - 一次試験 7月23日(日)／わくわく新庄
- ※詳細は、受験案内、市ホームページをご覧ください。

★次の職員採用試験は9月に実施する予定です★

①初級行政職(高校卒業程度)、②養護教諭 ※9月に実施する職員採用試験の詳細は、6月下旬に広報紙および市ホームページで発表予定です。なお、上記の内容は変更することがありますので、必ず受験案内でご確認ください。

国民年金保険料学生納付特例制度のご案内

◎年金事務所	Tel22-2050
市民課	Tel内線133

国民年金は、20歳以上であれば、学生も加入しなければなりません。

しかし、学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

対象となる方は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限1年以上である課程)に在学する学生等で、ご本人の前年所得が次の計算式で計算した金額以下であることが条件です。
<所得のめやす>118万円+(扶養親族等の数×38万円)

国民年金保険料学生納付特例申請について

◎年金事務所	Tel22-2050
市民課	Tel内線133

学生納付特例制度により、平成28年度に保険料納付を猶予されている方で、平成

29年度も引き続き在学予定の方へ、3月末に基礎年金番号などが印字されたハガキ形式の学生納付特例申請書を送付します。

同一の学校に在学されている方は、このハガキに必要な事項を記入し返送いただくことにより、平成29年度の申請ができます。(この場合、在学証明書または学生証の写しの添付は不要です。)

なお、平成29年度は学生納付特例制度を利用せず、保険料の納付を希望される場合は納付書を作成して送付します。お手数料をおかけしますが、お近くの年金事務所にご連絡ください。

障がい者のタクシー券・給油券について

◎成人福祉課高齢障害支援室 Tel内線546

- 対象 以下のいずれかの手帳をお持ちの方
 - ①身体障害者手帳1級から3級(3級については視覚・下肢・体幹・移動機能障害に限る)
 - ②療育手帳A③精神障害者保健福祉手帳1級
- ※給油券については上記要件に加え、障がい事由として自動車税(軽自動車を含む)の減免措置を受けている方が該当します。

■ところ 成人福祉課②窓口

- 持ち物 該当する手帳、印鑑、自動車税の減免を受けていることがわかる書類(給油券の場合)

わらすこ広場小学生利用のお願い

◎新庄子育て支援センター Tel22-5115

子ども同士だけの利用は、衝突事故などを防止するため、小学校1年生～3年生までとしています。また、緊急時のために、連絡先の事前登録をお願いしています。登録用紙は、わらすこ広場受付に用意してありますので、事前の手続きをお願いします。

小学校1年生は、体力面や行動面においてまだまだ注意が必要な年齢です。4月～8月までは、安全管理上できる限り保護者の付き添いをお願いしています。

奨学金返還を支援します

◎教育委員会 教育総務課 Tel内線446

- 対象 県内外の大学等に在学中で、日本学生支援機構の第一種奨学金または第二種奨学金の貸与を受けている人

Technology to Inspire Innovation

2018年卒 新卒採用募集！航空電子

詳しくはHPをご覧ください。
HP : <http://www.yae.jae.co.jp/>

山形航空電子株式会社 TEL:0233-24-1111

祝

からあげ 十兵衛

電話予約を
ぜひどうぞ！

入学・お花見
歓送迎会に
おすすめのオードブル!!
小(3～4人前)¥2,500
大(5～6人前)もあり

若葉町 9-53 (三井生命さん裏) 日曜定休 ☎ 32-1551

しんじょしらボ

女性の女性による女性のための新庄暮らし研究所

レポート No.01

しんじょしらボ 始動～「しんじょし」たちの“今”を調査せよ!!～

都市部への人口流出が原因で、全国896自治体ある「消滅可能性都市」に新庄市が名を連ねました。特に、「若年女性」が都市部へ流出したまま戻ってこないことが大きな要因となっています。女性が雇用や生活条件などを理由に都会へ行ってしまふのは一つの事実ですが、これから新庄を離れることになる女子高校生や、すでに都市部へ行っている若年女性の中に「いずれは新庄に戻ってきたい」と思っている人が多くいるのもまた事実です。

実際に、新庄には都会へ行かずとも結婚・出産・子育て・仕事をしながら生き生きと生活している女性がたくさんいます。「しんじょしらボ」では、そんな **新庄で暮らす女性たち＝「しんじょし」** たちを研究することで、これから新庄で暮らしていきたいと思う若者の不安や悩みを解決する手助けをしていきます。



今年度の研究テーマは「新庄での結婚・子育て」です。

結婚は人生の大きなターニングポイントです。そのあとに続く夫婦での新生活、出産・子育てなど、不安はたくさんあります。仕事と家庭のバランスをとることも欠かせません。以前と比べ、結婚や子育て自体への社会の意識や個人の選択の幅も大きく変わってきています。

そんな中で、「しんじょし」達の目には新庄での結婚・子育てがどのように見えているのか、「しんじょし」達の“今”を調査していきます。

市では結婚活動や子育てに関する相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

- **結婚活動支援に関すること**
市役所総合政策課企画政策室 TEL内線234
- **子育てに関すること**
市地域子育て支援センター TEL22-5115
(本町4-33こらっせ新庄4F わらすこ広場内)



LOVE ACTION -ラブアクション-

最上広域婚活実行委員会

婚活に関する情報を紹介しています。

婚活イベントやセミナーの開催など、最上地域の独身男女の結婚をサポートしています。

<http://love-action.jp/>

LINE@

子育て相談お受けしています。

ID@tee7591w

LINEの友達追加から「ID検索」または「QRコード」で登録してください！